

平成23年度
財団法人 鈴鹿国際交流協会
事業報告書・決算報告書

平成24年5月31日

目 次

I 事業報告書

- 1 事業の概要 1
- 2 庶務事項 9

II 決算報告者

- 1 貸借対照表 10
- 2 正味財産増減計算書 11
- 3 財産目録 13
- 4 財務諸表に対する注記 14
- 5 収支計算書（参考資料） 16
- 6 収支計算書に対する注記 18

I 事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

本市の外国人登録者数は、本年度末で 8,015 人と前年度末から 425 人の減少となり、全人口に占める外国人の比率は 3.97 パーセントで、2002 年度末以来 9 年振りに 4 パーセントを割り込みました。しかし、一方では、外国人市民の定住化・永住化も着実に進んでいます。

このような社会的環境の中、財団法人 鈴鹿国際交流協会（以下「協会」という。）では、市内の企業、団体及び市民と連携して、日常生活の中で日本人市民と外国人市民が共に仲良く暮らせる「住みよいまち」の実現を目指し、国際交流、国際理解・親善並びに多文化共生社会推進のため、次にかかげる諸事業を企画・実施しました。

1 事業の概要

(1) 交流事業

青少年ベルフォンテン市派遣事業

平成 23 年 8 月 3 日(水)～8 月 9 日 (火) に実施しました。

この事業は、公募した鈴鹿市在住の中学生及び高校生から、それぞれ 6 人ずつ計 12 人を選抜し、本市友好都市のオハイオ州ベルフォンテン市へ派遣する事業です。子供達は、ベルフォンテン市を中心としたホストファミリー宅に滞在し、アメリカ文化を学び、ローガン郡教育委員会の関係者の皆さんやベルフォンテン市長を表敬訪問するなどして交流を深めてきました。また 5 月以降、準備・練習を重ねてきたパフォーマンスをベルフォンテンの子供達や、ホストファミリーに披露し、喜ばれました。

(2) 研修啓発事業

① 国際理解セミナー

「ウガンダを知ろう！」

・開催日時 平成 23 年 8 月 20 日 (土) AM10:00～11:30

・場 所 男女共同参画センター ホール

・講 師 藤井友美さん (JICA 青年海外協力隊 OG)

・参加者 参加者 32 名

・結 果 ウガンダは、アフリカに位置する農業国で市民にとってあまり馴染みがありませんが、本市にはお二人のウガンダ人がお住まいです。

藤井友美さんは、かつて JICA の青年海外協力隊員としてウガンダで 1 年間活動されていて、この国の生活状況などについて、是非市民や子どもたちに紹介したいとの思いに応じて開催しました。

日本と生活レベルがかけ離れている国の状況について、炊事、洗濯、

学校での事業風景などをスライドで紹介され、日本がどれだけ豊かな生活を享受しているのかを改めて気づかされる良い機会となりました。

ウガンダ人も参加してくれました。

② 国際理解料理講座

* 「ベトナムの家庭料理」

- ・ 講 師 ホアン・ティ・ハンさん
- ・ 開催日時 平成 23 年 9 月 10 日 (土) AM10:00~PM2:00
- ・ 場 所 鈴鹿市文化会館 調理室
- ・ 参加者 32 名

* 「万能タレと簡単キムチの作り方を覚えよう！」

- ・ 講 師 キム・ヤンスンさん
- ・ 開催日時 平成 23 年 11 月 26 日(土)/27 日(日) AM10:00~PM2:00
- ・ 場 所 鈴鹿市文化会館 調理室
- ・ 参加者 50 名

③ 日本文化体験講座

「着物の着付けとお抹茶席の体験」

- ・ 講 師 着付け 小林豊子きもの学院 橋本豊梢先生とスタッフ 6 名
茶 席 表千家 村越豊啓先生
- ・ 開催日時 平成 23 年 12 月 10 日 (土) PM1:00~PM4:00
- ・ 場 所 鈴鹿市文化会館 和室・茶室
- ・ 参加者 10 名 (女性 8 名・男性 2 名) 中国・ペルー・ロシア・アメリカ

④ 「愛知県一ノ宮市立中央看護専門学校」多文化共生推進研修

専門学校からの依頼により、講師として職員を派遣しました。

- ・ 主 催 愛知県一ノ宮市立中央看護専門学校
- ・ 開催日 平成 23 年 11 月 28 日 (月)
- ・ 内 容 国際交流論 (鈴鹿市の現状から見た多文化共生の課題と取り組み)

⑤ 鈴鹿市役所職員研修

鈴鹿市役所職員研修に一環として、外国人向けのやさしい日本語講座の講師に協会職員を派遣しました。

- ・ 開催日時 平成 23 年 12 月 9 日 (金) PM3:00~PM5:00
- ・ 場 所 鈴鹿市役所 12F 会議室
- ・ テーマ 外国人市民と「だれにでもわかりやすい日本語」

(3) 情報収集提供事業

① ホームページ

協会のホームページの内容を定期的に更新しました。

② SIFA ニュース

年間 4 回 (平成 23 年 4・7・10 月, 24 年 2 月)・発行部数 600 部

協会役員 (理事・監事・評議員), 賛助会員及びボランティア会員への協会機関紙として発行しました。

ニュース内容は、協会の事業計画・予算や活動報告などの他、協会の近況や賛助会員及びボランティア会員の活動報告などを主体に掲載しました。

③ Suzuka Voice FM SIFA タイアップ事業

日本人市民と在住外国人市民が共に生きる社会を実現するため、地元のFM放送局スズカボイスFMと協会は、協働で毎週水曜日の午後1時半から地域に根ざした情報発信を行なっています。在住外国人市民の近況や協会の活動状況などについて、タイムリーで的確な情報を提供しました。

④ イアッツフォーラム「開校式・修了式典」出席

- ・平成23年9月24日（土） 鈴鹿サーキット 開講式
- ・平成23年11月12日（土） 鈴鹿サーキット 修了式

研修生はアセアン各国を代表する企業社員及び国や機関の代表的職員の若手の方々です。

(4) 国際交流活動推進事業

① 「国際交流フェスタ in 鈴国大」

- ・主 催 鈴鹿国際大学
- ・日 時 平成23年6月18日（土）PM1:00～5:00
- ・場 所 鈴鹿国際大学（国際文化ホール・体育館）
- ・参加者 350名
- ・事業内容 第1部 国際理解・国際交流活動発表会（体育館）

国際理解及び国際交流活動に取り組む県内の生徒または地域国際交流団体等が活動発表し、該当者に鈴鹿国際交流協会賞を各団体に授与しました。

第2部 国際交流の集い（体育館）

留学生による自国の民俗芸能の披露、留学生との多文化交流・国際料理の試食会などを通じて、ボランティア及び地域の方々等が楽しく交流しました。

② 「高めよう 深めよう 国際理解」

- ・主 催 社団法人 鈴鹿青年会議所
- ・日 時 平成23年10月12日（水）PM6:00～PM21:00
- ・場 所 鈴鹿市立体育館
- ・参加者 101名
- ・事業内容 第1部 講演会

講師 鈴鹿国際大学 学長補佐 アーナンダ・クマール氏

第2部 ダイアログセッション

第3部 日本の文化体験

③ 「多文化共生を考える集い」

- ・主 催 牧田地区地域づくり協議会
- ・日 時 平成23年12月18日（日）PM1:30～PM4:00
- ・場 所 鈴鹿市 牧田コミュニティセンター ホール

- ・参加者 60名
- ・事業内容 第1部 講演会 「やさしい日本語でやさしい地域づくり」
講師 鈴鹿国際大学講師 栈敷まゆみ先生
- 第2部 少年の主張発表と外国人ステージインタビュー
発表 鈴鹿市立創徳中学校3年 ワン・ハオジさん
インタビュー ブラジル・ペルー・ベトナム・中国出身者
- 第3部 南米音楽 歌と演奏を聴く
河田ヨシオの世界 ラテン音楽

④「韓国水原（スウォン）との国際交流事業」

- ・主催 IIFC・国際理解実践センター
- ・日時 平成23年12月22日（木）～26日（月）
- ・場所 鈴鹿青少年センター，鈴鹿サーキット，ホームステイ先
- ・参加者 韓国：19名
小学生 1名，中学生 11名，高校生 4名，引率者3名
日本：12名
小学生 2名，中学生 4名，高校生 6名
ボランティア：9名
- ・事業内容 1. ホームステイ
2. 日本文化紹介，レクリエーション等での交流
3. 鈴鹿サーキットでの交流
4. キムチ作り

(5) 共生推進事業

① 日本語会話講座開催事業

市内在住外国人のための日本語会話講座を要望が多い日本語検定に照準を合わせて開催しました。

- ・開催場所 鈴鹿市文化会館 研修室
- ・講座内容 N4：平成23年4月7日～6月30日 全12回 受講者8名
N3：平成23年9月8日～12月30日 全12回 受講者6名
N2：平成24年1月12日～3月29日 全12回 受講者6名

② 地域共生推進事業

ア 日本語指導者研修事業

日本語ボランティア養成講座を次のとおり開催しました。

- ・募集人数 20名 / 応募者 20名 修了者 15名
- ・講師 日本語教師：松葉先生・八木先生・吉田先生
- ・期間 平成23年5月21日～6月25日（毎週土曜日）
PM1:00～PM2:30・PM2:45～PM4:15（全12回開講）
- ・講座内容 5/21 鈴鹿市の外国人の現状，ボランティア教室について
日本語っておもしろい！
5/28 初級学習項目 I 【動詞】

『～ています』のいろいろ

6/ 4 初級学習項目Ⅱ【形容詞】【名詞】

どうやって教える？Ⅰ…【形容詞】

6/11 どうやって教える？Ⅱ…【形容詞】（受講者模擬授業）

初めての〇〇語

6/18 緊急時はどうしよう

どうやって教える？Ⅲ『こ・そ・あ・ど』

6/25 困ったときの…

ボランティア活動のやりがい

イ 外国語版広報紙発行事業（マンスリーすずか）

ルビ付き日本語，ポルトガル語及びスペイン語版の広報紙を毎月発行しました。

・発行部数 毎月 約 3,600 部（ポルトガル語 2,000 部・スペイン語 1,000 部・ルビ付き日本語 500 部）

・内 容 市広報を在住外国人の方が必要とする記事の選択・翻訳・印刷して市及び市内の外国人が多く集まる店舗へ配布しました。

今年度は，1年間通して「防災に関する記事」を連載しました。

ウ 共生社会推進イベント事業

第10回 震災復興支援 国際交流フェスタ 2011「わいわい春まつり」開催

・主 催 鈴鹿国際交流フェスタ“わいわい春まつり”実行委員会

・開催日時 平成23年4月17日(日)AM10:00～PM4:00

・場 所 鈴鹿ハンター・弁天山公園

・参加者 2,500名

本年度は，東日本大震災復興支援イベントとして開催しました。大勢のボランティアによる義援金募金の呼びかけや，買い物客のイベント参加があつて，昨年以上の参加者増につなげることができました。また，会場での募金活動で集まった義援金138,791円は，日本赤十字社を通じて被災地に届けました。

・実行委員会開催状況

【国際交流フェスタ 2011 分】

第7回 平成23年 4月 9日(土) PM1:30～3:30 牧田コミュニティセンター

第8回 平成23年 4月 16日(土) PM3:00～鈴鹿ハンターで事前準備

【国際交流フェスタ 2012 分】

第1回 平成23年 10月 8日(土) PM1:30～3:30 神戸コミュニティセンター

第2回 平成23年 11月 5日(土) PM1:30～3:30 神戸コミュニティセンター

第3回 平成23年 12月 17日(土) PM1:30～3:30 神戸コミュニティセンター

第4回 平成24年 1月 14日(土) PM1:30～3:30 神戸コミュニティセンター

第5回 平成24年 2月 18日(土) PM1:30～3:30 神戸コミュニティセンター

第6回 平成24年 3月 17日(土) PM1:30～3:30 神戸コミュニティセンター

エ 学習支援ボランティア養成講座

外国籍の子供達の学習環境を整えるが求められており，市内の学習支援教室において，学習をサポートするボランティアを養成する講座を実施しました。

- ・開催日時 平成23年10月6日(木), 10月13日(木), 10月20日(木),
10月26日(水), 10月27日(木) PM2:00~PM3:30
- ・場 所 鈴鹿市男女共同参画センター, ブラジル人学校, 桜島小学校
- ・参加者 6名

オ その他共生推進事業

* 浴衣の着付け講座

- ・開催日時 平成23年7月24日(日) PM1:00~PM4:15
- ・場 所 鈴鹿市伝統産業会館
- ・内 容 浴衣を自分で着られるようにしようと, 小林豊子きもの学院の全面的な協力を受けて開催しました。中には, 今年度のベルフォンテン派遣生も現地で一人で浴衣を着られるようにと参加していました。
- ・参加者 8名

* 「留学生等への支援」

鈴鹿国際大学等への留学生の方に対して, 市民, 賛助会員, ボランティア会員等から生活物資の寄付を頂きました。鈴鹿短期大学移転の関係から, 年度が替わりました平成24年4月6日(金)に大学へ届けました。

* 外国人住民向け防災セミナー

- ・開催日時 平成24年2月26日(日) AM10:00~AM12:00
 - ・場 所 県営桜島団地集会所
 - ・参加者 12名 ブラジル9名 ペルー1名 中国2名
 - ・内 容 災害への備え(災害事例の紹介, 普段の準備, 災害発生時の対応方法及び防災グッズ等の紹介・販売等)
- 外国人市民が多く暮らす場所での開催にも拘らず, 募集人員20名のところ参加者12名とやや期待外れでしたが, 内容についての参加者の評判は上々でした。

カ 多文化共生推進受託事業(ふるさと雇用再生特別基金事業)

多文化共生推進員2名を採用し, 次の事業を実施しました。

- ・出前講座 一宮公民館「国際交流 ブラジルの伝統文化や生活習慣を学ぶ」
平成23年5月13日(金) AM10:00~AM11:30 参加者47名
- 長太公民館「四胡演奏とモンゴル文化紹介」
平成23年6月16日(木) AM10:00~AM11:30 参加者48名
- 天名公民館「国際交流と(中国)料理教室」
平成23年6月27日(金) AM10:00~PM1:00 参加者16名
- 鈴鹿国際大学「日本の年中行事」
平成23年7月1日(金) AM9:00~AM10:30 参加者27名
- 鈴峰公民館「中国太極拳 体験講座」
平成23年9月30日(金) AM10:00~AM11:30 参加者57名
- 牧田公民館「韓国家庭料理教室」
平成23年10月23日(日) AM10:00~PM1:00 参加者17名
- 旭が丘公民館「作ってみよう, 韓国料理」

平成 23 年 11 月 15 日（金）AM9：30～PM1：00 参加者 33 名
郡山公民館「二胡のしらべ」

平成 24 年 1 月 31 日（火）AM10：00～AM11：30 参加者 52 名
・まきたこどもフェスタ参加 多文化共生推進員を派遣 会場：鈴鹿ハンター
平成 23 年 11 月 6 日（日）PM1：30～PM4：00 参加者 70 名

・安全・安心フェスタ in イオンモール 「ピクトグラムを探せ」出店

平成 23 年 11 月 12 日（土）AM10：00～PM4：00

キ 第三国定住難民のための日本語講座（文化庁受託事業）

鈴鹿に居住する第三国定住ミャンマー難民の大人向けに日本語学習機会を作り、地域生活上のコミュニケーション力をつけると共に、生活上必要となる文字の習得をめざしました。

- ・開催日 平成 24 年 1 月 10 日～3 月 23 日 計 21 回 2 時間/1 回
- ・場所 鈴鹿市大久保町集落センター
- ・参加者 6 名（男女 3 名ずつ）
- ・内容 文字クラス 1 月 10 日～3 月 13 日 毎週金曜日 計 10 回 対象 6 名
会話クラス 1 月 13 日～3 月 16 日 毎週火曜日 計 10 回 // 男 3 名
生活指導 3 月 23 日（金） // 男 3 名
- ・実行委員会 地元自治会長・雇用主・AJALT 職員・日本語教師・SIFA 職員で組織

第 1 回：平成 23 年 12 月 19 日（月）

AJALT で行った研修の引継ぎ及び地元要望を踏まえた研修プランの作成

第 2 回：平成 24 年 3 月 22 日（木）

日本語教室の総括と課題の抽出及び今後について

(6) 他団体への参加

①「平成 23 年度やすらぎくんネット」

夏の鈴鹿川体験や鈴鹿川環境展の開催について、関係団体で組織する実行委員会形式で行っており、協会もその趣旨に賛同し、外国人向けのチラシの翻訳及び広報担当として参加しました。

平成 23 年 8 月 21 日に予定していましたが夏の鈴鹿川体験事業は、天候不良により中止となりました。

第 11 回鈴鹿川流域の環境展は、「子どもたちが体験して、楽しく学ぶ自然の大切さ」をテーマに次のとおり実施されました。

・日時 平成 24 年 1 月 14 日（土）AM10:00～PM4：00

15 日（日）AM10:00～PM4：00

・場所 鈴鹿ハンター内センターコート・サブコート・インフォメーション

②「多文化共生を考える」集い

・主催 鈴とも

・日時 平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月 第 3 火曜日開催 年 12 回

- ・場 所 鈴鹿市社会福祉協議会
 - ・内 容 社会福祉協議会が主催する多文化共生を考える組織です。「介護ヘルパーアミーゴ教室」（4回/年）や「国際交流サロン」（4回/年）に参加しました。
- ③「多文化共生に関する意識調査検討委員会」
- ・主 催 社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会
 - ・日 時 平成 23 年 8 月 24 日（水） PM7：00～
 - ・場 所 鈴鹿市社会福祉センター 2階会議室
 - ・内 容 多文化共生に関する意識調査の結果報告について
- ④「災害時外国人支援キット作成検討会」
- ・主 催 財団法人 三重県国際交流財団
 - ・日 時 平成 23 年 8 月～平成 24 年 2 月 4回開催
 - ・場 所 アスト津 3F みえ県民交流センター
 - ・内 容 災害時に外国人を支援するためのキットについて、内容の検討、名称、中身及び普及方法等について検討しました。
- ⑤「外国人住民からの相談スタッフのための研修会」
- ・主 催 三重県国際交流財団
 - ・日 時 平成 23 年 7 月 11 日（月） PM1：30～PM3：30
平成 24 年 2 月 8 日（水） PM1：30～PM4：00
 - ・場 所 アスト津 3F みえ県民交流センターほか
 - ・内 容 外国人からの相談に対応するため、県内の国際交流事業を行う団体スタッフが集まり、相談への対応方法や平成 24 年 3 月 1 日に発効した日伯社会保障協定の内容等について、研修を受けました。
- ⑥ 鈴鹿市・ベルフォンテン市友好都市協定 20 年のあゆみパネル展
- ・主 催 鈴鹿市
 - ・日 時 平成 23 年 7 月 26 日（火）～8 月 8 日（月）
 - ・場 所 鈴鹿市役所 市民ロビー
 - ・内 容 両市の友好都市協定 20 周年を記念し、これまでの交流の歴史と異文化理解について、パネルや両市の記念品等を市と協力して展示・紹介しました。

2 庶務事項

(1) 理事会等

評議員会	第1回	平成 23 年	5 月	20 日	(金)
	第2回	平成 23 年	6 月	28 日	(火)
	第3回	平成 23 年	10 月	28 日	(金)
	第4回	平成 24 年	3 月	13 日	(火)
理 事 会	第1回	平成 23 年	5 月	31 日	(火)
	第2回	平成 23 年	11 月	18 日	(金)
	第3回	平成 24 年	2 月	13 日	(月)
	第4回	平成 24 年	3 月	27 日	(火)

II 決算報告書

1 貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	9,102,363	7,193,654	1,908,709
未収金	920,515	0	920,515
前払金	11,458	0	11,458
流動資産合計	10,034,336	7,193,654	2,840,682
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	119,779,512	119,779,512	0
定期預金	30,220,488	30,220,488	0
基本財産合計	150,000,000	150,000,000	0
特定資産			
事業推進積立資産（三重銀行 鈴鹿支店）	3,884,789	3,884,789	0
減価償却引当資産（百五銀行 鈴鹿支店）	2,367,746	2,173,498	194,248
退職給付引当資産（三重銀行 鈴鹿支店）	839,950	849,600	△9,650
特定資産合計	7,092,485	6,907,887	184,598
その他の固定資産			
車両運搬具	1	45,062	△45,061
什器備品	2	2	0
ソフトウェア	1	149,188	△149,187
その他の固定資産合計	4	194,252	△194,248
固定資産合計	157,092,489	157,102,139	△9,650
資産の部合計	167,126,825	164,295,793	2,831,032
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,243,047	1,999,033	2,244,014
前受金	141,000	0	141,000
預り金	283,691	166,327	117,364
流動負債合計	4,667,738	2,165,360	2,502,378
2 固定負債			
退職給付引当金	1,123,150	849,600	273,550
固定負債合計	1,123,150	849,600	273,550
負債の部合計	5,790,888	3,014,960	2,775,928
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	161,335,937	161,280,833	55,104
（うち基本財産への充当額）	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(7,092,485)	(6,907,887)	(184,598)
正味財産合計	161,335,937	161,280,833	55,104
負債及び正味財産合計	167,126,825	164,295,793	2,831,032

2 正味財産増減計算書

平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで

(一般正味財産増減の部)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
1 経常収益			
(1) 基本財産運用益	619,443	1,950,000	△ 1,330,557
基本財産受取利息	619,443	1,950,000	△ 1,330,557
(2) 受取会費	840,000	800,000	40,000
賛助会員受取会費	840,000	800,000	40,000
(3) 事業収益	2,478,300	2,266,500	211,800
自主事業収益	234,300	262,500	△ 28,200
受取参加負担金	2,244,000	2,004,000	240,000
(4) 受取補助金	21,492,000	21,000,000	492,000
受取国庫・県補助金等	0	0	0
受取市補助金等	21,392,000	21,000,000	392,000
受取民間補助金等	100,000	0	100,000
(5) 受取寄付金	0	151,000	△ 151,000
受取寄付金	0	151,000	△ 151,000
(6) 事業受託収益	5,310,072	1,758,966	3,551,106
受託金収益	5,310,072	1,758,966	3,551,106
(7) 雑収益	15,350	34,643	△ 19,293
受取利息	5,630	10,063	△ 4,433
雑収益	9,720	24,580	△ 14,860
経常収益計	30,755,165	27,961,109	2,794,056
2 経常費用			
(1) 事業費	23,659,165	18,898,436	4,760,729
交流事業費	7,417,724	6,692,743	724,981
研修啓発事業費	2,621,103	2,437,707	183,396
情報収集提供事業費	2,746,883	2,739,868	7,015
国際交流活動推進事業費	391,774	455,000	△ 63,226
共生推進事業費	10,481,681	6,573,118	3,908,563
(2) 管理費	7,040,896	6,861,087	179,809
役員報酬	100,000	100,000	0
給料手当	3,858,829	4,314,542	△455,713
退職給付	452,500	0	452,500
福利厚生費	570,520	614,489	△43,969
会議費	239,037	160,930	78,107
旅費交通費	4,760	5,800	△ 1,040
通信運搬費	145,492	132,703	12,789
減価償却費	45,061	367,570	△ 322,509
ソフトウェア減価償却費	149,187	162,750	△ 13,563
消耗什器備品費	204,250	0	204,250
消耗品費	148,382	31,078	117,304
修繕費	80,981	0	80,981
印刷製本費	186,331	157,719	28,612
燃料費	13,395	19,301	△ 5,906
光熱水費	46,806	49,610	△ 2,804
使用料	353,200	353,500	△ 300
賃借料	170,410	170,410	0

科 目	当年度	前年度	増 減
保険料	98,960	76,680	22,280
租税公課	13,200	4,000	9,200
負担金	102,800	103,800	△ 1,000
支払手数料	56,795	36,205	20,590
経常費用計	30,700,061	25,759,523	4,940,538
当期経常増減額	55,104	2,201,586	△ 2,146,482
3 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
4 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	55,104	2,201,586	△ 2,146,482
一般正味財産期首残高	161,280,833	159,079,247	2,201,586
一般正味財産期末残高	161,335,937	161,280,833	55,104

(指定正味財産増減の部)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
正味財産期末残高	161,335,937	161,280,833	55,104

3 財産目録

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金			
百五銀行 鈴鹿支店	5,536,941		
三重銀行 鈴鹿支店	3,559,909		
第三銀行 鈴鹿支店	2,606		
鈴鹿農業協同組合 本店	2,907		
未収金	920,515		
前払金	11,458		
流動資産合計		10,034,336	
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券			
国庫債券資金（日本国）	119,779,512		
定期預金			
百五銀行 鈴鹿支店	10,220,488		
三重銀行 鈴鹿支店	10,000,000		
鈴鹿農業協同組合 本店	5,000,000		
第三銀行 鈴鹿支店	5,000,000		
基本財産合計		150,000,000	
特定資産			
事業推進積立資産（三重銀行 鈴鹿支店）	3,884,789		
減価償却引当資産（百五銀行 鈴鹿支店）	2,367,746		
退職給付引当資産（三重銀行 鈴鹿支店）	839,950		
特定資産合計		7,092,485	
その他の固定資産			
車両運搬具	1		
什器備品	2		
ソフトウェア	1		
その他の固定資産合計		4	
固定資産合計		157,092,489	
資産の部合計			167,126,825
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,243,047		
前受金	141,000		
預り金	283,691		
流動負債合計		4,667,738	
2 固定負債			
退職給付引当金	1,123,150		
固定負債合計		1,123,150	
負債の部合計			5,790,888
正味財産			161,335,937

4 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具, 什器備品及びソフトウェア・・・定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・・・・・・・期末退職給与の要支給額に相当する額を計上

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国債	119,779,512	—	—	150,000,000
定期預金	30,220,488			
小 計	150,000,000	—	—	150,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	849,600	273,550	283,200	839,950
減価償却引当資産	2,173,498	194,248	0	2,367,746
事業推進積立資産	3,884,789	0	0	3,884,789
小 計	6,907,887	467,798	283,200	7,092,485
合 計	156,907,887	467,798	283,200	157,092,485

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
国債	119,779,512	—	(119,779,512)	—
定期預金	30,220,488		(30,220,488)	
小 計	150,000,000	—	(150,000,000)	
特定資産				
退職給付引当資産	839,950	—	—	(839,950)
減価償却引当資産	2,367,746	—	(2,367,746)	—
事業推進積立資産	3,884,789	—	(3,884,789)	—
小 計	7,092,485	—	(6,252,535)	(839,950)
合 計	157,092,485	—	(156,252,535)	(839,950)

4 担保に供している資産

該当なし。

5 固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
車両備品 (公用車)	1,081,500	1,081,499	1
什器備品 (パソコン)	472,500	472,498	2
ソフトウェア	813,750	813,749	1
合 計	2,367,750	2,367,746	4

6 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名 称	交 付 者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の記載区分
国際交流事業 市 補助金	鈴 鹿 市	0	21,392,000	21,392,000	0	—
助 成 金	東海テレビ 国 際 基 金	0	100,000	100,000	0	—
合 計	—	0	21,492,000	21,492,000	0	—

5 収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(事業活動収支の部)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	616,000	619,443	△ 3,443	
基本財産利息収入	616,000	619,443	△ 3,443	
(2) 会費収入	840,000	840,000	0	
賛助会費収入	840,000	840,000	0	
(3) 事業収入	2,478,000	2,478,300	△ 300	
自主事業収入	234,000	234,300	△ 300	
参加負担金収入	2,244,000	2,244,000	0	
(4) 補助金収入	22,297,000	21,492,000	805,000	
市補助金等収入	22,197,000	21,392,000	805,000	
民間補助金等収入	100,000	100,000	0	
(5) 事業受託収入	5,003,000	5,310,072	△ 307,072	
受託金収入	5,003,000	5,310,072	△ 307,072	
(6) 雑収入	9,000	15,350	△ 6,350	
受取利息収入	4,000	5,630	△ 1,630	
雑収入	5,000	9,720	△ 4,720	
事業活動収入計	31,243,000	30,755,165	487,835	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	23,859,000	23,385,615	541,773	
交流事業費支出	7,468,000	7,349,336	118,664	
研修啓発事業費支出	2,603,000	2,552,715	50,285	
情報収集提供事業費支出	2,879,000	2,678,496	200,504	
国際交流活動推進事業費支出	392,000	391,774	226	
共生推進事業費支出	10,517,000	10,413,294	103,706	
(2) 管理費支出	7,326,000	6,846,648	479,352	
役員報酬支出	100,000	100,000	0	
給料手当支出	4,098,480	3,858,829	239,651	注1
退職給付支出	453,000	452,500	500	
福利厚生費支出	570,520	570,520	0	注1
会議費支出	286,000	239,037	46,963	
旅費交通費支出	15,000	4,760	10,240	
通信運搬費支出	145,492	145,492	0	注1
消耗品費支出	215,000	148,382	66,618	
修繕費支出	124,508	80,981	43,527	注1
印刷製本費支出	202,000	186,331	15,669	
燃料費支出	25,000	13,395	11,605	
光熱水費支出	48,000	46,806	1,194	
使用料支出	368,000	353,200	14,800	
賃借料支出	171,000	170,410	590	
保険料支出	104,000	98,960	5,040	
租税公課支出	23,000	13,200	9,800	
負担金支出	108,000	102,800	5,200	
支払手数料支出	64,000	56,795	7,205	
消耗什器備品費支出	205,000	204,250	750	

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
事業活動支出計	31,185,000	30,232,263	952,737	
事業活動収支差額	58,000	522,902	△464,902	

(投資活動収支の部)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
投資活動収入				
特定資産取崩収入	378,000	283,200	94,800	
退職給付引当資産取崩収入	378,000	283,200	94,800	
投資活動収入計	378,000	283,200	94,800	
投資活動支出				
特定資産取得支出	469,000	467,798	1,202	
減価償却引当資産取得支出	195,000	194,248	752	
退職給付引当資産取得支出	274,000	273,550	450	
投資活動支出計	469,000	467,798	1,202	
投資活動収支差額	△ 91,000	△ 184,598	93,598	

(予備費支出)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
予備費支出	100,000	0	100,000	

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
当期収支差額	△ 133,000	338,304	△471,304	
前期繰越収支差額	5,028,000	5,028,294	△294	
次期繰越収支差額	4,895,000	5,366,598	△471,598	

6 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、未収金、未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	7,193,654	9,102,363
未 収 金		920,515
前 払 金		11,458
合 計	7,193,654	10,034,336
未 払 金	1,999,033	4,243,047
前 受 金		141,000
預 り 金	166,327	283,691
合 計	2,165,360	4,667,738
次期繰越収支差額	5,028,294	5,366,598

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用 (注1)

予算科目のうち管理費－給与手当支出より 41,520 円を福利厚生費支出に、管理費－修繕費支出より 6,492 円を管理費－通信運搬費支出に流用した。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費－給与手当支出	4,140,000	△ 41,520	4,098,480
管理費－福利厚生費支出	529,000	41,520	570,520
管理費－修繕費支出	131,000	△ 6,492	124,508
管理費－通信運搬費支出	139,000	6,492	145,492